令和5年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	行政課 企画財政課	電話番号		直通	989-5500 989-5503
基本目標	絆でつながる　安心な　ながいずみ				
政策	共につくる活発なまちの実現	施策分野	コミュニティ・協働		
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	24,616　千円	今年度 予算額	24,660　千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	単位	進捗評価
1	自治会加入世帯の割合	目標値		85.0	85.0	85.0	85.0	概ね85%を維持	%	A
		実績値	87.0	86.4	86.8					
2	まちづくり活動の団体数	目標値		4	6	8	9	10	団体	E
		実績値	2	0	0					
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								

総合評価	C：進捗が思わしくない

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	「くらしの便利帳」や広報ながいずみ、ホームページによる自治会活動の紹介、土地利用指導要綱に基づく自治会加入の推進や新設マンションの既存自治会への加入手続きの支援、コミュニティ施設整備事業等補助金による自治会活動の推進、転入手続きの際に転入者等に対する加入案内を通じて自治会活動を紹介、加入啓発、協働によるまちづくり推進事業補助金を活用したまちづくり団体の育成、令和５年４月協働によるまちづくり推進事業補助金の制度改正（新たな支援区分の新設、補助内容と審査方法の見直し）、制度改正後活用した団体１団体あり
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・地域コミュニティの中核を成す自治会は、地域課題の解決や地域住民の福祉向上、コミュニティ醸成などに寄与するものとして重要性が再認識されているものの、郷土に対する意識の希薄化や周囲と関わりを持たない生活を望む人に対するアプローチが課題の一つとなっている。 ・高齢就業者数が増え、負担感等から区長や区役員のなり手不足や役員選出に伴い区付き合いをやめる人が出るようになり、区役員等の選出に苦慮している。 ・協働によるまちづくり推進事業補助金は、補助金の対象となる任意団体への周知が不足していると同時に、町内で活動する任意団体の数を把握することが困難である。 ・成果指標２については、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの申請実績においてほとんどの割合を占める集客を行って実施するまちづくり活動の機運が下がったことが要因として考えられるため、「E」としている。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・防災・防犯・子育て等、隣近所や地域コミュニティとの関わりの重要性を周知するため、区長連絡協議会をはじめ、自主防災会、シニアクラブなどの住民団体や民生委員等、地域コミュニティを基盤とした各種団体と情報提供や情報共有、意見交換の場の創出による連携を強化し、地域活動の必要性を伝えていく仕組みを構築していく。 ・区長会の開催回数を減らすとともに、区長連絡協議会役員に依頼している各種委員の充て職を減らしていく。 ・今後コロナ禍で縮小していた各種イベントや人の動きが活発化すると見込んでおり、そのような状況下で当該補助金の申請状況を注視していく。 ・【R５.４】協働によるまちづくり推進事業補助金　制度改正（～R７.３ 時限延長） ・【広報6.15号】当該補助金に関する記事　掲載